日本酸素ホールディングス

2025 年 5 月 12 日

2025 年３月期 通期決算に関するお知らせ

日本酸素ホールディングス㈱（社長 CEO：濱田 敏彦）では、2025 年３月期 通期の業績が確定しましたのでお知らせします。詳細は、当社ウェブサイトに開示しております決算短信および決算電話会議資料をご覧ください。

記

1. 2025 年 3 月期 通期業績概要

当連結会計年度（2024 年４月１日から 2025 年３月 31 日まで）における当社グループの事業環境は、引き続き、先行きを見通すことが困難な状況でした。

このような状況の下、グループ全体における製商品の出荷数量は微減でしたが、主力製品であるセパレートガス（酸素、窒素、アルゴン）の出荷数量は前期並みでした。グループ全体としては、コスト上昇による販売価格への転嫁等の価格マネジメント、そして地域ごとに生産性向上プログラムに取り組みました。一方、米国で建設を進めていた水素生産設備の建設計画中止に伴い、減損損失が発生しました。

これらの結果、当連結会計年度における業績は、売上収益１兆 3,080 億 24 百万円（前連結会計年度比 4.2%増加）、コア営業利益 1,891 億 49 百万円（同 13.9%増加）、営業利益 1,659 億６百万円（同 3.6%減少）、親会社の所有者に帰属する当期利益 987 億 79 百万円（同 6.7%減少）となりました。

（単位：十億円）		2024年3月期 通期	2025年3月期 通期	前期比 増減額	前期比 増減率	為替影響除き 増減率
売上収益		**1,255.0**	**1,308.0**	**+53.0**	**+4.2%**	*+1.4%*
コア営業利益		**165.9**	**189.1**	**+23.2**	**+13.9%**	*+10.3%*
コア営業利益率		13.2%	14.5%			
非経常項目		6.0	-23.2	-29.2		
営業利益（IFRS）		**172.0**	**165.9**	**-6.1**	**-3.6%**	
営業利益率		13.7%	12.7%			
EBITDAマージン		22.2%	23.3%			
金融損益		-21.3	-20.6	+0.7		
税引前当期利益		**150.7**	**145.2**	**-5.5**	**-3.6%**	
法人所得税		41.3	43.3	+2.0		
当期利益		109.3	101.9	-7.4	-6.8%	
（当期利益の帰属） **親会社の所有者に帰属する当期利益**		**105.9**	**98.7**	**-7.2**	**-6.7%**	
当期利益率		8.4%	7.6%			
非支配持分に帰属する当期利益		3.4	3.1	-0.3		
為替レート（円） （期中平均レート）	USD（米ドル）	145.31	152.57			
	EUR（ユーロ）	157.72	163.66			
	AUD（豪ドル）	95.32	99.27			

2．2026 年３月期　通期業績予想

2026 年３月期の通期業績予想は下表の通りです。

（単位：十億円）	2025年3月期 通期	2026年3月期 通期予想 （2025年5月12日発表）	前期比 増減額	前期比 増減率	2026年3月期 通期予想 （為替影響除き）	増減率
売上収益	**1,308.0**	**1,290.0**	**-18.0**	**-1.4%**	**1,328.8**	**+1.6%**
コア営業利益	**189.1**	**191.0**	**+1.9**	**+1.0%**	**197.2**	**+4.3%**
コア営業利益率	14.5%	14.8%			14.8%	
非経常項目	-23.2	0.0	+23.2		0.0	
営業利益（IFRS）	**165.9**	**191.0**	**+25.1**	**+15.1%**	**197.2**	**+18.9%**
営業利益率	12.7%	14.8%			14.8%	
EBITDAマージン	23.3%	24.1%			24.1%	
金融損益	-20.6	-22.5	-1.9		-23.0	
税引前利益	**145.2**	**168.5**	**+23.3**	**+16.0%**	**174.2**	**+20.0%**
法人所得税	43.3	49.0	+5.7		50.5	
当期利益	101.9	119.5	+17.6	+17.2%	123.7	+21.4%
（当期利益の帰属）						
親会社の所有者に帰属する当期利益	**98.7**	**116.0**	**+17.3**	**+17.4%**	**120.2**	**+21.7%**
当期利益率	7.6%	9.0%			9.0%	
非支配持分に帰属する当期利益	3.1	3.5	+0.4		3.5	
為替レート（円）（期中平均レート） USD（米ドル）	152.57	141.00			152.57	
EUR（ユーロ）	163.66	162.00			163.66	
AUD（豪ドル）	99.27	90.00			99.27	

（参考情報）

2025 年 3 月期 通期業績業績（セグメント別）

（単位：十億円）

		2024年3月期	**2025年3月期**		前期比			
		通期	**通期**	構成比	増減額	増減率	為替影響	為替影響除き増減率
日本	売上収益	414.3	**410.0**	31.4%	-4.3	-1.1%	-4.6	-1.1%
	セグメント利益	42.9	**47.0**	24.9%	+4.1	+9.5%	+4.0	+9.4%
	セグメント利益率	10.4%	11.5%					
米国	売上収益	347.0	**360.2**	27.5%	+13.2	+3.8%	-4.1	-1.2%
	セグメント利益	50.0	**59.7**	31.6%	+9.7	+19.5%	+7.2	+13.7%
	セグメント利益率	14.4%	16.6%					
欧州	売上収益	302.4	**328.6**	25.1%	+26.2	+8.6%	+14.7	+4.7%
	セグメント利益	53.2	**62.4**	33.0%	+9.2	+17.2%	+7.1	+12.9%
	セグメント利益率	17.6%	19.0%					
アジア・オセアニア	売上収益	160.3	**176.5**	13.5%	+16.2	+10.1%	+9.9	+6.0%
	セグメント利益	15.9	**15.0**	8.0%	-0.9	-5.6%	-1.5	-9.2%
	セグメント利益率	9.9%	8.5%					
サーモス	売上収益	30.7	**32.5**	2.5%	+1.8	+5.9%	+1.7	+5.7%
	セグメント利益	5.5	**6.2**	3.3%	+0.7	+12.9%	+0.4	8.4%
	セグメント利益率	18.1%	19.3%					
調整額	売上収益	0.0	**0.0**	0.0%	-0.0	—		—
	セグメント利益	-1.7	**-1.4**	-0.8%	+0.3	—		—
連結合計	売上収益	1,255.0	**1,308.0**	100.0%	+53.0	+4.2%	+17.5	+1.4%
	セグメント利益	165.9	**189.1**	100.0%	+23.2	+13.9%	+17.6	+10.3%
	コア営業利益率	13.2%	14.5%					

【日本】

産業ガス関連では、セパレートガス及び炭酸ガスの出荷数量は減少しました。また、電子材料ガスは減収でした。一方、機器・工事では、産業ガス関連、エレクトロニクス関連共に、中大型案件の工事の進捗に伴う売上等により、増収となりました。なお、前期の特定顧客向けにオンサイト供給を担う子会社のジョイント・オペレーション化及び民生用ＬＰガス事業を担う子会社の非連結化による減収影響がありました。セグメント利益は、電力代の落ち着きや、機器・工事における売上収益の増加が寄与し、増益となりました。

【米国】

産業ガス関連では、セパレートガスの出荷数量は微増であったことや価格マネジメントの効果により、増収となりました。機器・工事では、産業ガス関連、エレクトロニクス関連共に販売が軟調でした。セグメント利益は価格マネジメントの効果に加え、生産性向上に取り組んだ結果、増益となりました。

【欧州】

産業ガス関連では、セパレートガスの出荷数量は前期並み、炭酸ガスは軟調でしたが、価格マネジメントの効果もあり、増収となりました。機器・工事では、ガス関連機器及び医療関連機器の販売が好調で増収となりました。セグメント利益は、売上収益の増加に加え、生産性向上活動が寄与し、増益となりました。

【アジア・オセアニア】

産業ガス関連では、セパレートガスの出荷数量は堅調に推移しました。主に豪州地域での販売が多くを占めるＬＰガスでは、販売数量が堅調に推移し、増収となりました。エレクトロニクス関連では、ガス・機器共に増収

となりました。一方、セグメント利益は、豪州における人件費及び物流費の上昇、ヘリウムの供給過多による一部地域での販売価格の軟化もあり、減益となりました。また、公表した豪州における買収事業の取得関連費用を第４四半期に計上したことも減益の要因となりました。

【サーモス】

日本では、機能的でスタイリッシュなデザインの新製品の上市もあり、ケータイマグの販売は堅調で、また、韓国の販売は前期並みで増収となりました。セグメント利益は、引き続き円安に伴う製造コストの増加の影響を受けましたが、コスト低減に努め、増益となりました。

以上

日本酸素ホールディングスグループは、日本、米国、欧州、アジア・オセアニアの 4 つの地域で 30 超の国と地域をカバーする世界第 4 位の産業ガス、電子ガス、医療用ガスのサプライヤーです。また、サーモス事業では、世界 120 カ国以上に THERMOS ブランド製品を供給しています。1910 年に日本酸素合資会社として設立されて以来、当社グループは、革新的なガスソリューションを通じて社会的価値を創造し、産業の生産性を高め、人々の豊かで健康な暮らしとより持続可能な未来に貢献することを使命としています。19,000 名以上の従業員を擁する私たちは、"The Gas Professionals "として、“進取と共創。ガスで未来を拓く。”という同じ目標を掲げています。

お問い合わせ先

日本酸素ホールディングス株式会社

広報部

03-5788-8513

Nshd.Info@nipponsanso-hd.co.jp